

# TUFT NEWS



シェイクダウンのご報告  
活動状況  
ご支援のご報告

東北大学フォーミュラチーム



Tohoku  
University  
Formula  
Team

2019-4-7

Vol.3

# シェイクダウンのご報告

5月26日、弊チームの今季マシンTF-19がシェイクダウンいたしました。

これまで、シャシーはほぼ完成していたものの、モーターの制御システムに関する課題が残っていました。シェイクダウン当日は、まずタイヤを浮かせた状態でモーターを回転させ、正常に動作することを確認しました。その後、今季のドライバー候補者がトルク制限を設けながら動作試験を行い、シャシー・ドライブトレイン共に大きな問題なく作動することを確認しました。

今年は屋外でのシェイクダウンとなったため、動作確認の後に引き続いてテスト走行を行いました。今度はトルク制限を解除した状態でブレーキ試験、アクセラレーション、スキッドパッドを行い、車両に異常が無いか試験しました。

試走の結果、所々に熟成が必要な部品が見つかりました。また、セッティングを詰める、仮パーツをアップデートするなどの課題が残っているため、今後はそれらを中心に大会に向けて作業を進めます。



▲試走での作業の様子

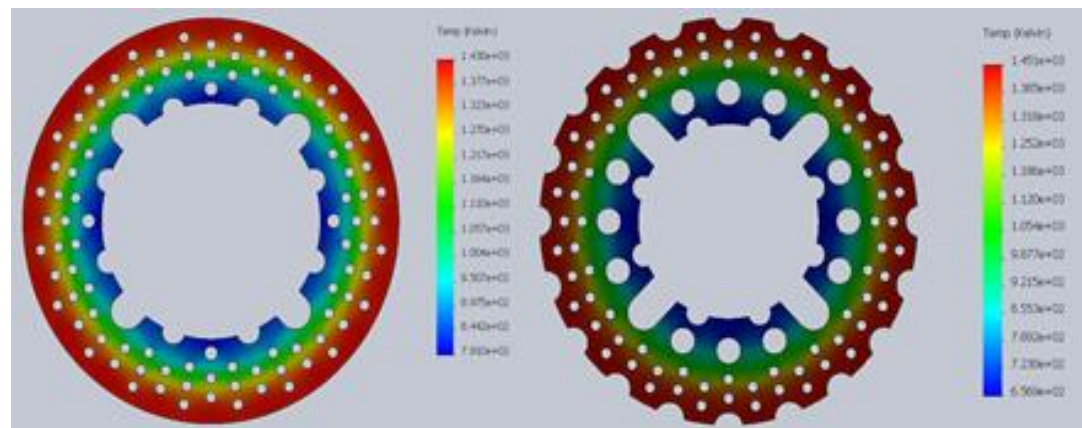
今回のシェイクダウンおよびテスト走行の際は、トヨタ自動車東日本様宮城大衡工場駐車を借用させて頂きました。また、今季シェイクダウンに至るまでに多くのスポンサー様および個人の皆様のご支援、ご協力をいただきました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

# 静的審査のご報告

マシン制作と並行して、静的審査の準備も進めていました。コスト審査では、全部品の材料、製造工程および図面をまとめ、マシン製造に要するコストを算出する必要があります。提出すべき書類の量は静的審査の中で最も多く、計画的な取り組みが求められます。今年は提出日前にシェイクダウンできたため、未計上部品が無いようにした上で、ミスが無いか念入りに確認しました。限られた時間の中、メンバー一同力を合わせ無事に郵送、提出することができました。



▲コストレポートの発送



▲デザインレポート掲載図の抜粋  
(ブレーキディスクの熱解析)

一方デザイン審査は、チームの設計意図が書かれているデザインレポートを元にエンジニアの審査員の方々と直接ディスカッションを行い、車両の設計プロセスや設計そのものの合理性が審査される「思考の競技」です。静的審査の中では点数配分が最も多く、車両設計において設計意図がいかに重要かが分かります。今年は設計期間を10月上旬から12月末までと長く取っており設計意図を熟考できたため、比較的スムーズにデザインレポートを書くことができました。

# ご支援の御礼

主に6/16までのご支援を  
掲載いたしております。(順不同)

## ゼット・エフ・ジャパン株式会社様

活動資金のご支援をいただきました。



## 住友電装株式会社様



電装部品を無償にてご提供いただきました。



▲住友電装株式会社様よりご提供いただいた  
電装部品

# スポンサー様一覧

弊チームは皆様のご協力により支えられております。



## 東北大学フォーミュラチーム 連絡先

〒980-8576

宮城県仙台市青葉区川内41番地

東北大学学生支援課活動支援係 気付

E-mail : [tuft.mail@gmail.com](mailto:tuft.mail@gmail.com)

2019年度チームリーダー 穴戸健太



FacebookのQRコード



TwitterのQRコード



HPのQRコード